

質問項目 (5) 新工業団地への企業誘致の進捗状況について

回答

昨年4月から分譲を開始した新工業団地「第2大村ハイテクパーク」は、4区画で分譲面積約12.4ヘクタールです。

この団地への誘致企業は、多くの雇用が生まれる見込みのある製造業をターゲットにしています。

現在、4区画のうち1区画に、アルミ及び亜鉛ダイカスト製品に係る金型設計・製作から精密鋳造、精密加工、各種表面処理に至る完成部品の製作・製造を手掛ける「嶋本ダイカスト株式会社」、水と研磨剤を混ぜて圧縮空気で噴霧し、金属やプラスチックなどの表面を削ったり、汚れを洗い流す表面処理装置メーカーの「マコー株式会社」の自動車関連企業2社の立地が決定しました。このうち「嶋本ダイカスト株式会社」は、昨年11月に起工式を行い、工場建設に着手しています。雇用は、2社で120人を見込んでいます。

残りの3区画については、長崎県や、企業誘致の推進、新事業の創出支援等を総合的に行っている長崎県産業振興財団と連携し、企業訪問や情報共有を図りながら、関東や関西、東海地方の企業を対象とした誘致活動に取り組んでいます。

また、本市出身者で組織する企業誘致支援会議での情報収集や情報発信にも取り組んでいるところです。

本年4月からは、本市の企業誘致を更に強化するため、長崎県産業振興財団へ派遣した職員による企業訪問や情報収集等を行うこととしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため企業訪問が制限され、十分な企業誘致活動ができない状況が続いているところです。

今後も、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、早期の完売を目指し取り組んでまいりたいと考えています。